



2020年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月10日

上場会社名 株式会社ジェイグループホールディングス
 コード番号 3063 URL <http://www.jgroup.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 新田 二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部長 (氏名) 赤工 朝飛
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 052-243-0026

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第3四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	10,242	7.1	211		224		141	
2019年2月期第3四半期	11,023	3.9	223		161		191	

(注) 包括利益 2020年2月期第3四半期 133百万円 (%) 2019年2月期第3四半期 168百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	15.63	
2019年2月期第3四半期	22.75	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第3四半期	11,769	2,423	19.6
2019年2月期	11,318	2,308	19.4

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 2,306百万円 2019年2月期 2,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		1.50		1.50	3.00
2020年2月期		1.50			
2020年2月期(予想)				1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,100	0.3	118		145	830.1	26	57.6	2.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期3Q	9,400,400 株	2019年2月期	8,975,900 株
期末自己株式数	2020年2月期3Q	200,153 株	2019年2月期	200,105 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期3Q	9,052,547 株	2019年2月期3Q	8,429,620 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善を背景に景気は緩やかな回復基調が続いてまいりましたが、消費増税による消費マインドへの影響が懸念されることに加え、米中貿易摩擦や英国のEU離脱による影響など海外の政治動向は不確実性を増しており、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

外食業界におきましては、依然として消費者の節約志向が続く中で、原材料価格の上昇や人材不足による人件費関連コストの上昇も続いており、厳しい経営環境となっております。

このような環境のもと、当社グループでは、飲食事業において直営既存店のリニューアルに注力するとともに、「博多かわ屋」のフランチャイズ事業の推進に注力いたしました。また、消費増税後の景気動向を見極めるため、新規出店を抑制し既存店のサービス強化や組織体制の見直しに取り組みました。直営店の出退店におきましては、2店舗を新規出店し、8店舗をリニューアルするとともに、4店舗を閉店いたしました。これらにより、2019年11月末日現在の業態数及び店舗数は、74業態149店舗(国内146店舗、海外3店舗)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,242百万円(前年同期比7.1%減)、営業損失は211百万円(前年同期は営業損失223百万円)となりました。また、不動産事業の新規案件の長期借入金において、支払金利の固定化を図り金利上昇リスクをヘッジするために締結している金利スワップ契約の評価損を計上したことなどから、経常損失は224百万円(前年同期は経常損失161百万円)となり、保険解約返戻金を特別利益に計上したことなどから、親会社株主に帰属する四半期純損失は141百万円(前年同期は四半期純損失191百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 飲食事業

既存店のリニューアル及び原価、人件費のコストコントロールに注力するとともに、組織体制の見直しに着手いたしました。新規出店といたしましては、2019年3月に「八光(ハチミツ)」(京都市中京区)を新規オープンいたしました。また、11月にスペインバルセロナに「大治郎」をオープンいたしました。リニューアルでは、2019年3月に直営の飲食店ビル「G-SEVEN(ジーセブン)豊田」(愛知県豊田市)内の5店舗を一斉リニューアルし、「北海道バル MOU MOU(モーモー)」、「芋蔵GIRI(イモゾウギリ)」、「吟醸マクロ豊田店」、「金べこ(キンベコ)」、「頂(イタダキ)」をオープンするとともに、同月に「LEAF GREENS(リーフグリーンズ)」(埼玉県志木市)を「月のうさぎ」に、5月に「PELLICANO(ペリカーノ)」(静岡市葵区)を「MOU MOU バル(モーモーバル)」に、6月に「SARUBARUSA(サルバルサ)」(愛知県豊橋市)を「Mou Mou Cafe(モーモーカフェ)豊橋店」にリニューアルオープンいたしました。また、「燦家(サンヤ)大曾根店」(名古屋市中村区)、「猿Cafe(サルカフェ)名駅桜通店」(名古屋市中村区)、「芋蔵(イモゾウ)金山店」(名古屋市中村区)、「静岡パルシェビアガーデン」(静岡市葵区)を閉店いたしました。

その結果、飲食事業における売上高は9,210百万円(前年同期比8.5%減)、営業利益は313百万円(同2.5%減)となりました。

② 不動産事業

テナントビル「ダイヤモンドウェイ」や「jG金山」などの賃貸収入が安定的な収益に寄与いたしました。その結果、不動産事業における売上高は1,526百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は132百万円(同3.5%増)となりました。

③ ブライダル事業

前連結会計年度に改装いたしました名古屋ルーセントタワー別棟のレストランウェディング施設「LA ETERNITA(ラ・エテルニータ)」(名古屋市中村区)を中心に受注件数の増加に取り組みました。その結果、ブライダル事業における売上高は560百万円(前年同期比13.5%増)、営業利益は1百万円(前年同期は営業損失14百万円)となりました。

④ その他の事業

販促制作事業及び卸売業等のその他の事業における売上高は560百万円(前年同期比17.7%減)、営業損失は0百万円(前年同期は営業利益25百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は11,769百万円(前連結会計年度末比450百万円増加)となり、負債は9,346百万円(同335百万円増加)、純資産は2,423百万円(同115百万円増加)となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ147百万円増加し1,535百万円となりました。これは、売掛金が77百万円、商品及び製品が52百万円、それぞれ増加したことなどが主な要因であります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ306百万円増加し10,217百万円となりました。これは、建設仮勘定の増加に伴い有形固定資産が477百万円増加したことなどが主な要因であります。

繰延資産につきましては、社債発行費が3百万円減少し16百万円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ153百万円増加し3,024百万円となりました。これは、買掛金が88百万円、短期借入金が237百万円それぞれ増加し、1年内返済予定の長期借入金が92百万円、未払法人税等が61百万円それぞれ減少したことなどが主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ181百万円増加し6,322百万円となりました。これは、長期借入金が226百万円増加したことなどが主な要因であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ115百万円増加し2,423百万円となりました。これは主に、資本金が新株予約権の権利行使により144百万円、資本剰余金が新株予約権の権利行使及び海外子会社株式の追加取得により138百万円それぞれ増加し、四半期純損失の計上及び剰余金の配当により利益剰余金が168百万円減少したことなどが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の連結業績予想につきまして、2019年4月10日に公表いたしました業績予想から現時点において変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	537,262	540,710
売掛金	334,084	412,083
商品及び製品	65,353	118,249
原材料及び貯蔵品	117,971	99,594
その他	333,470	365,128
流動資産合計	1,388,142	1,535,766
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,301,102	3,034,322
土地	3,825,557	3,825,557
その他(純額)	624,036	1,368,067
有形固定資産合計	7,750,696	8,227,948
無形固定資産		
のれん	443,360	457,900
その他	33,965	27,828
無形固定資産合計	477,326	485,728
投資その他の資産		
投資有価証券	8,220	8,220
差入保証金	1,281,897	1,269,644
繰延税金資産	31,400	59,272
その他	382,324	187,796
貸倒引当金	△21,019	△21,019
投資その他の資産合計	1,682,823	1,503,913
固定資産合計	9,910,846	10,217,590
繰延資産		
社債発行費	20,005	16,611
繰延資産合計	20,005	16,611
資産合計	11,318,994	11,769,968

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	382,893	471,280
短期借入金	59,561	297,311
1年内返済予定の長期借入金	1,038,643	946,561
1年内償還予定の社債	20,000	30,000
未払金	739,384	785,932
未払法人税等	91,893	30,672
賞与引当金	4,607	—
株主優待引当金	5,730	13,490
その他	527,485	448,794
流動負債合計	2,870,199	3,024,042
固定負債		
社債	350,000	370,000
長期借入金	4,600,791	4,827,546
繰延税金負債	570,536	570,520
資産除去債務	89,616	89,076
その他	529,794	465,105
固定負債合計	6,140,738	6,322,247
負債合計	9,010,937	9,346,290
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,338,895	1,483,116
資本剰余金	1,268,895	1,407,088
利益剰余金	△305,199	△473,415
自己株式	△76,085	△76,122
株主資本合計	2,226,505	2,340,667
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△31,555	△34,182
その他の包括利益累計額合計	△31,555	△34,182
新株予約権	11,434	7,359
非支配株主持分	101,671	109,834
純資産合計	2,308,056	2,423,678
負債純資産合計	11,318,994	11,769,968

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)
売上高	11,023,311	10,242,929
売上原価	3,539,861	3,320,354
売上総利益	7,483,449	6,922,575
販売費及び一般管理費	7,707,249	7,134,442
営業損失(△)	△223,800	△211,867
営業外収益		
受取利息	851	486
協賛金収入	103,174	85,281
設備賃貸料	14,656	7,569
その他	22,201	20,203
営業外収益合計	140,884	113,540
営業外費用		
支払利息	54,484	53,174
為替差損	2,737	9,984
金利スワップ評価損	—	41,314
賃貸費用	13,453	10,552
その他	7,551	11,267
営業外費用合計	78,225	126,292
経常損失(△)	△161,141	△224,620
特別利益		
固定資産売却益	—	14,797
保険解約返戻金	—	133,221
受取保険金	40,989	—
特別利益合計	40,989	148,018
特別損失		
店舗閉鎖損失	18,268	47,323
特別損失合計	18,268	47,323
税金等調整前四半期純損失(△)	△138,420	△123,925
法人税等	26,180	7,397
四半期純損失(△)	△164,601	△131,323
非支配株主に帰属する四半期純利益	27,147	10,138
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△191,748	△141,461

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
四半期純損失(△)	△164,601	△131,323
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△4,290	△2,627
その他の包括利益合計	△4,290	△2,627
四半期包括利益	△168,891	△133,950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△195,617	△142,114
非支配株主に係る四半期包括利益	26,726	8,163

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、ストック・オプションとしての新株予約権の権利行使により、資本金が144,221千円、資本準備金が144,221千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,483,116千円、資本剰余金が1,407,088千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飲食	不動産	ブライダル	計				
売上高								
(1) 外部顧客 への売上高	9,999,537	200,611	494,009	10,694,158	329,152	11,023,311	—	11,023,311
(2) セグメント 間の内部 売上高又は 振替高	63,998	1,305,494	200	1,369,693	351,997	1,721,691	△1,721,691	—
計	10,063,536	1,506,105	494,209	12,063,852	681,150	12,745,002	△1,721,691	11,023,311
セグメント利益 又は損失(△)	321,398	128,038	△14,105	435,331	25,940	461,271	△685,071	△223,800

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△685,071千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

前第3四半期連結会計期間の「不動産」セグメントにおいて、株式会社ジェイアセット(旧商号株式会社サンコーエステート)の株式を取得し、子会社化したことによるのれんは暫定的に算出された金額でありましたが、前連結会計年度末に確定しております。この結果、前第3四半期連結会計期間の暫定的に算出されたのれんは、会計処理の確定により314,064千円減少し、124,248千円となっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	不動産	ブライダル	計				
売上高								
(1) 外部顧客 への売上高	9,140,671	208,256	560,819	9,909,747	333,182	10,242,929	—	10,242,929
(2) セグメント 間の内部 売上高又は 振替高	69,867	1,318,409	69	1,388,346	227,108	1,615,455	△1,615,455	—
計	9,210,539	1,526,666	560,888	11,298,094	560,290	11,858,384	△1,615,455	10,242,929
セグメント利益 又は損失(△)	313,261	132,468	1,275	447,004	△346	446,658	△658,526	△211,867

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額658,526千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「飲食」セグメントにおいて、KAKEHASHI, S. L. U. の株式を取得し、子会社化いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、29,437千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より「飲食事業」に含んでおりました株式会社かわ屋インターナショナルの食材の販売に関する事業を「その他事業」に区分しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものであり、当該変更による前第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。